

2024年7月30日
西日本旅客鉄道株式会社

瀬戸大橋線 レール温度上昇に伴う徐行区間を通常速度で走行した件について

2024年7月27日、瀬戸大橋線 妹尾駅構内においてレール温度上昇に伴い徐行運転（速度規制）が必要であった区間を列車が通常速度で走行したことが判明しました。ご利用のお客様にはご心配をおかけし、大変申し訳ございませんでした。

1 発生日時

2024年7月27日（土） 17時00分頃

2 発生場所

瀬戸大橋線 妹尾駅構内

3 関係列車

- （1）上り 特急列車（南風16号）3両編成 ご乗車のお客様：約60人
高知駅（13時13分）発 岡山駅（15時41分）着
- （2）上り 快速列車（マリンライナー42号）5両編成 ご乗車のお客様：約300人
高松駅（15時10分）発 岡山駅（16時03分）着
- （3）上り 特急列車（しおかぜ20号）5両編成 ご乗車のお客様：約80人
松山駅（13時26分）発 岡山駅（16時11分）着

4 概況

当日、線路を保守管理する箇所がレール温度上昇に伴い徐行区間の確認を行ったところ、妹尾駅構内で徐行運転（速度45キロメートル毎時以下）とすべき箇所が運転規制一覧から漏れており、上記列車が当該区間を通常速度で走行していたことが判明しました。

※お客様からお怪我等の申告はありません。

※この事象による遅れはありません。

5 原因

線路を保守管理する箇所が作成する運転規制一覧から当該区間が漏れていたためです。